

ともに生きるVol.3

# ～境界の彼方～

## プログラム

近藤 譲：ディシラム (1996)

Jo Kondo: Dithyramb

L.フェラーリ：トートロゴスIII —シカゴ版 (1969)

Luc Ferrari: Tautologos III Version Chicago for any choice of instruments (or participants)

近藤 譲：ラスターは彼女に帽子を渡し、そして彼とベンは裏庭を横切っていった (1975)

Jo Kondo: Luster Gave Her the Hat and He and Ben Went Across the Backyard

L.フェラーリ：トートロゴスIII —11の楽器のための (1970)

Luc Ferrari: Tautologos III Version for 11 instruments

近藤 譲：合歓 (2020) -荒木田隆子基金委嘱 ～世界初演

Jo Kondo: Albizzia -World Premiere

## 出演者 Ensemble NOMAD

佐藤紀雄 (cond/gt) 木ノ脇道元 (fl) 菊地秀夫 (cl)  
野口千代光・花田和加子 (vn) 甲斐史子 (va) 菊地知也 (vc)  
佐藤洋嗣 (cb) 中川賢一 (pf) 宮本典子 (perc)

## Guests

林 憲秀 (ob) 佐藤秀徳 (tp) 今込 治 (tb)  
大久保貴之・安江佐和子 (perc)

2021

2/6 Sat.

東京オペラシティ リサイタルホール  
18:30開場 19:00開演

### チケット

#### 【前売】

一般 ¥3,000

大学生 ¥2,000

高校生以下 ¥1,000

(就学前のお子様の同伴・ご来場はご遠慮下さい)

#### 【当日】

一般 ¥3,500

大学生 ¥2,500

高校生以下 ¥1,500

### チケット取り扱い

東京オペラシティチケットセンター  
Tel:03-5353-9999

アンサンブル・ノマド ウェブサイト  
<http://www.ensemble-nomad.com/>

### お問い合わせ

キーノート

Tel:0422-44-1165

[keynote\\_music@fol.hi-ho.ne.jp](mailto:keynote_music@fol.hi-ho.ne.jp)

※発熱や咳など、体調不良の症状がある方や、マスクを着用されていない方はご入場いただけません。詳細は下記団体WEBサイトをご覧ください。

主催／一般社団法人 アンサンブル・ノマド <http://www.ensemble-nomad.com/>

助成／公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 ARTS COUNCIL TOKYO

公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

NOMURA FOUNDATION

公益財団法人 朝日新聞文化財団



# アンサンブル・ノマド 第71回定期演奏会



## ともに生きる Vol.3 ～境界の彼方～

このプログラムでは二人の対照的な作曲家の作品を交互に演奏する。フランスのリュック・フェラーリは感傷的かつ肉感的、そして幽かな艶を忍ばず異端の香りを発する音楽を残し、2005年にイタリアに死す。近藤 譲は明晰で健全な思考の佇まいに、どこか悪戯っぽさをあわせ持ち、その独特なテンペラメントは他の作曲家からは決して見出すことの出来ない魅力である。対照的な性格の作曲家によるプログラムがもたらすものを予見する事は難しいが、特別な体験を予感させる。

佐藤 紀雄



今回の出演者:佐藤紀雄(cond/gt) 木ノ脇道元(fl) 菊地秀夫(cl) 野口千代光・花田和加子(vn) 甲斐史子(va) 菊地知也(vc) 佐藤洋嗣(cb) 中川賢一(pf) 宮本典子(perc)

### Ensemble NOMAD

1997年、ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって集まった、無類の個性豊かな演奏家によって結成されたアンサンブル。「NOMAD」(遊牧、漂流)の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に採り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されてきた。2002年に行った定期演奏会「ケージとメシアンの間で交わす自然と宇宙に関する往復書簡」は大きな反響をよび、サントリー芸術財団「第2回佐治敬三賞」を、2015年に行った定期演奏会「再生へVol.3:祈り～エストニアから震災復興を祈るコンサート」により「ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞」を受賞した。海外からの招待も多く、2000年オランダの「ガウデアムス音楽週間」、2003年ベネズエラで行なわれた「フェスティバル・アテンポ」、2005年11月パリで行われた「フェスティバル・アテンポ」およびイギリスの「ハダースフィールド現代音楽祭」、2007年にはメキシコの「モレリア音楽祭」、また2008年10月にはソウルでの「パン・ムジーク・フェスティバル」などに出演。2009年秋には、中国の北京首都師範大学、北京中央音楽学院、四川音楽学院で中国人作品を中心としたプログラムの公演を行ない、好評を博した。2011年には2度目の韓国公演を開催。2013年7月にはエストニアとオランダで公演を開催。2014年にはメキシコのセルバンティーノ音楽祭に日本を代表するアンサンブルの1つとして招聘された。2015年12月には再び中国四川公演を行ったほか、今後も中国、オランダやドイツ、フランスなどでの公演を予定している。

また、近年ではアウトリーチ活動にも積極的に取り組み、保育所、病院、小学校、特別支援学校等で訪問コンサートやワークショップを行なっている。

CDは、近藤 譲「梔子」(ALCD-47)、「空の眺め」(ALCD-57)、「オリエント・オリエンテーション」(ALCD-67)、「表面・奥行き・色彩」(ALCD-93)、石田秀実「神聖な杜の湿り気を運ぶもの」(ALCD-60)、池辺晋一郎「炎の資格」(CMCD-28121)、福士則夫「花降る森」(CMCD-28128)が発売されている。海外ではエベルト・バスケスの「Bestiario (動物寓話集)」が2011年に、「Pruebas de vida (生命の証)」が2015年にリリースされ、2014年にはオリジナル・アルバム「めぐる—Meguru」をリリース。2015年夏から秋にリリースされた「現代中国の作曲家たち」シリーズは、レコード芸術誌の特選盤や朝日新聞の「for your collection」推薦盤に選ばれている。公式ウェブサイト:www.ensemble-nomad.com/



林 憲秀 (ob)



佐藤 秀徳 (tp)



今込 治 (tb)



大久保 貴之 (perc)



安江 佐和子 (perc)



東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティB1F  
Tel: 03-5353-0788  
京王新線「初台駅」東口下車徒歩3分

Photos (表): 近藤 譲 ©Jörgen Axelvall / リュック・フェラーリ ©A.Pequin